

環境を守りはぐくむ人を育てる

〔将来像〕

子どもから大人までが「めぐろの環境」について学び、自発的に環境にやさしい暮らし方を賢く選択しています。一方、事業者においても環境に配慮した事業活動が浸透しています。

目黒区エコプラザが地域の環境保全活動の拠点としての役割を果たし、多くの区民や団体で連携した活動やネットワークの形成が見られ、活動の輪が広がります。

〔取組方針〕

こうした将来像を目標に、環境への気づき、環境にやさしい暮らし方の実践につながる学習や体験の機会を増やすとともに、気づきから行動へ促すことができるよう、日常生活や事業活動の中で実践できる仕組みづくりを行います。

また、環境学習等に参加した人々が、地域の環境保全活動や人材育成に携わり、環境を守りはぐくむことを地域に広げ、次の世代に伝えていく活動を支援していきます。



(イラストはイメージです)

指標の評価

😊：目標値を達成 😊：目標値に近づいている 😞：目標値に近づいていない -：現状値を把握していない

| 指標項目 | 基準年度 | 基準年度末時点実績値 | 2022 (令和4) 年度末実績値 | 目標 | 評価 |
|--|------|--------------------------|--|----|-----------------|
| 成果指標 | | | | | |
| 環境保全に関する取組に参加したことがある人の割合 ^{※1} | 2016 | 14.4% | 13.5% | 増加 | 😊 ^{※2} |
| 取組点検項目 | | | | | |
| 出前講座実施回数(☆) | 2010 | 小学校出前講座 15校794人 | 小中学校出前講座 3校189人 その他出前講座 1回13人 | 増加 | 😞 |
| | | 子育てママの エコ入門 10組20人 | 子育てママの エコ入門 43組87人 | | 😊 |
| 環境配慮活動団体数 (目黒区エコプラザ支援団体)(☆) | 2010 | 8団体 | 4団体 | 増加 | 😞 |
| 環境配慮活動団体数 (スーパーズ活動団体)(☆) | 2010 | 32団体 | 34団体 | 増加 | 😊 |
| 環境配慮活動団体数 (グリーンクラブ、公園活動登録団体の合計数)(☆) | 2014 | 107団体 | 116団体 | 増加 | 😊 |
| 環境推進員ステップアップ講座・交流会参加者数(☆) | 2010 | 20人 | 18人 | 増加 | 😊 |

※1 P81の区民に対する『環境に関するアンケート』の「2. 環境にやさしい行動の取組状況について」の問7の★5マークの項目の集計結果から算出。

※2 P71「標本誤差について」により、数値の増減は誤差の範囲内のため、評価は「目標に近づいている」とした。

2017(平成29)～2022(令和4)年度の成果と課題

- 出前講座実施回数については、新型コロナウイルス感染症の影響を除き、着実に増えていきます。小中学生や子育て世代など次世代に向けた講座が展開できているほか、目黒区エコプラザにおいて、さまざまなテーマの講座・講習会がオンラインを含めて実施されており、施策の拡充が図れているといえます。
- 環境配慮活動団体数について、環境に取り組む団体が着実に増加しており、地域主体の環境活動が活発に行われているといえます。一方で、「環境保全に関する取組に参加したことがある人の割合」は伸び悩んでおり、参加者の固定化等が懸念されます。幅広い世代に活動の情報等を伝えることが、参加率の向上及び担い手育成に必要と考えられることから、多様な媒体や自然と目に入ることに配慮した情報発信が求められます。

施策の進め方

地域の環境をよくしていくためには、環境保全の大切さや環境問題の現状を知り、家庭や地域の中で環境に配慮した行動を積極的に進めていくことのできるひとづくりが何より重要です。

区では、これまでも学校版めぐろグリーンアクションプログラムの推進等、学校における環境教育や、エコプラザを拠点とした講演会や講座の開催等に取り組んできました。

今後も、学校やエコプラザを中心に、環境教育・学習の機会を幅広く提供していきます。また、地域の主体的な環境学習への支援、自主的に活動できる人材の育成を進めていきます。

●環境推進員の育成

目黒区エコプラザでは地域において積極的に環境保全活動を行うことのできる人材（環境推進員）を育成することを目的として、フィールドワークやグループ討議・発表等、全6回の連続講座を実施しています。

2022（令和4）年度は、「やってみよう！環境活動～いま私たちができること～」をテーマに、第13期環境推進員養成講座を開催し、養成講座修了者は7人でした。



<グループ発表>

●エコプラザを活用した環境学習

環境に配慮した生活を提案するため、身近な体験を通して楽しく学べる、さまざまなテーマの講座・講習会を目黒区エコプラザで開催し、参加人数は合計で1,185人でした。



<サロン・エコライフ「紙パック de 紙すき体験」>

<環境学習の内容と参加人数> (単位：人)

| 講座・講習会名 | 参加人数 |
|------------|-------|
| 出前講座（小学校） | 189 |
| 子育てママのエコ入門 | 87 |
| 修理コツコツ講座 | 149 |
| 何でもつくり隊 | 708 |
| サロン・エコライフ | 40 |
| 親子ふれあい自然体験 | 12 |
| (合計) | 1,185 |



<親子ふれあい自然体験 in めぐろ「おちばでステンシル エコバッグ作り」>

●環境学習機会の提供

自発的な環境活動へのきっかけとして、身近なテーマで大人から子どもまでを対象とした講演会などの開催をしました。

＜環境学習の内容と参加人数＞

| 講演会名など | 内容 | 延参加人数 |
|----------|--------------------|-------|
| 環境講演会 | 「みんなで取り組むごみのこと」 | 32人 |
| 消費生活展 | パネル展開催及び映画上映会 | 308人 |
| 消費生活連続講座 | 「大量廃棄社会に私たちができること」 | 34人 |

●学校等における環境学習の推進

学習指導要領に基づき、学校における環境教育の充実を図るため、持続可能な開発目標（SDGs）等の視点を踏まえた環境教育について、教科等の学習の中で横断的に取組を進めました。

●多様な媒体を活用した環境情報の発信力の強化

6月の環境月間に、総合庁舎本館西口ロビーで環境パネル展を開催し、ハクビシン相談・捕獲事業、温暖化防止対策、アスベスト調査費用の助成制度等の啓発を行いました。

また、エコプラザだよりの発行（計12回）やホームページなどを活用した、広報の充実に努め、目黒区エコプラザの利用促進を図りました。なお、さまざまな機会、媒体を活用することで、環境情報の発信力を高めました。

＜目黒区エコプラザの利用状況＞

| 利用項目 | 登録人数 ／利用件数 |
|----------|---------------|
| 新規利用登録人数 | 94人 |
| 活動室利用件数 | 263件 |
| 図書貸出し件数 | 180件 |

◇2023（令和5）年度に実施する主な施策の内容

- 目黒区エコプラザ事業として、環境推進員養成講座を実施し、地域において積極的に環境保全活動を行うことのできる人材（環境推進員）を育成します。また、講座・講習会の開催に当たっては、特に若い世代が参加できる講座を充実し、参加者層の拡大を図っていきます。
- 目黒区エコプラザに来館した方が気軽に学び、その成果を持ち帰ることが出来るように、展示物やミニ講座「サロン・エコライフ」の充実化を図っていきます。

施策の進め方

区民が環境教育・学習を通じて学んだことを活かし、地域の中で環境保全行動を実践していくことができるよう、自主的に活動する人材がリーダーとなって、地域で活躍する仕組みを整えていきます。

また、事業者も地域の一員として、事業活動における環境負荷の低減、環境への配慮に取り組んでいくことも重要です。

このため、区は、事業者への普及啓発、自主的な環境配慮行動への支援に努めていきます。

● **めぐろエコサポーター制度登録者への活動支援**

エコサポーター制度登録者は、2022（令和4）年度末で117人となっています。毎月エコサポーターに情報提供を行いました。エコライフめぐろ推進協会のイベントや講座が新型コロナウイルス感染症対策のためほとんどが中止となりました。エコライフめぐろ推進協会ホームページ上にめぐろエコサポーター専用ページを作成し、情報の提供を行いました。

● **環境に配慮した事業活動の促進**

製造業、建設業、情報通信業及びものづくりにかかわる、ソフト産業を主たる事業として営む区内中小企業の国際標準規格であるISO9000並びにISO14000シリーズの取得に対して、費用の一部を助成しています。2022（令和4）年度は1社からISO9000の申請がありました。

また、省エネルギーや緑化などの環境配慮行動に取り組む事業者・団体を応援する、めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）を推進しました。認定会を1回開催し、新規認定が0件、更新認定が1件、中間報告が1件ありました。



めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）
（認定事業所ステッカー）>

● **自主的な環境学習の支援**

環境学習施設として、駒場野公園内に生ごみ堆肥化機械を設置し、家庭から出る生ごみの堆肥化活動の支援を行っています。利用回数は42回と、2021（令和3）年度の40回とほぼ同じ利用回数であり、新型コロナウイルス感染症が発生する前と同程度となっています。



<生ごみ堆肥化機械>

◇ **2023（令和5）年度に実施する主な施策の内容**

- ・エコサポーター制度登録者が自主的な活動に取り組めるよう支援していきます。
- ・区内中小企業でものづくり事業を営む事業者に対し、国際標準規格の取得支援事業を行います。
- ・生ごみの堆肥化事業を引き続き実施し、自主的な環境学習を促します。

施策の進め方

地域と地球の環境を守りはぐくむまちを実現していくためには、環境保全活動の輪を広げ、さまざまな主体が連携して取組を進めていくことが重要です。

このため、環境推進員や環境配慮活動団体のネットワーク化を図り、環境活動に取り組む区民や団体どうしの交流、連携を促進していきます。また、区民、団体、事業者、区等が参加、話し合う場の提供等を通じてパートナーシップを構築していくことも大切です。

さらに、他地域との連携により、行政の垣根を越えてあらゆる主体が連携し、広域的に環境問題への対応を進めていくよう努めます。

● **環境推進員のネットワーク化**

環境推進員が、区や団体などと協力して地域で活動していくためのステップアップ講座や、交流会などを開催して、環境推進員が協力し合って地域で活動できるように、連携を図っています。2022（令和4）年度は、「映画『マイクロプラスチックストーリー』からごみ問題を考える」をテーマにステップアップ講座を行いました。

● **めぐろエコサポーター制度登録者への活動支援【再掲】** P 5 6 参照

● **地域の環境保全活動の普及および参加促進**

2022（令和4）年度「エコまつりめぐろ2022」を地域団体と事業者団体、企業、エコライフめぐろ推進協会及び区が連携して、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、開催時間を縮小して実施しました。23団体が参加し、来場者は約1,800人でした。



<エコまつりめぐろ2022ソーラーカー・エコまつり2022フライヤー>

また、地域の環境保全活動の活性化につながるため、幅広い環境活動に継続して取り組んでいる区民・団体・事業者を顕彰する「エコ・チャレンジ顕彰」を、2001（平成13）年度から開始し、2021（令和3）年度までに57人の区民、57団体、15事業者の方を顕彰しています。2022（令和4）年度は、以下の1団体、1事業者を顕彰しました。

<被顕彰者及び顕彰理由>

| 被顕彰者（敬称略） | 顕彰理由 |
|-----------|--|
| 東急電鉄株式会社 | 東急線全路線での運行にかかる電力を、日本初の取り組みとして再生可能エネルギー由来の電力100パーセントにすることで、区内の脱炭素化に大きく貢献している。 |
| 中目黒村美化委員会 | 定期的に近隣住民、企業、飲食店の方々と目黒川沿いの清掃活動を行っており、区内の環境美化に大きく貢献している。 |

●区民・団体・事業者のパートナーシップによる環境施策の推進

協働による環境保全活動の推進に向けて、目黒区環境審議会を3回開催し、環境保全施策についての審議や情報提供を行いました。また、区民や事業者などが参加し、地球温暖化対策について話し合う場となる地球温暖化対策地域協議会を1回開催しました。協議会では、「目黒区地球温暖化対策地域推進計画」の進捗状況を確認し、目標に向けた効果的な取組について検討しました。

<目黒区環境審議会の開催内容>

| 回・開催日 | 内容 | |
|--------------------------------|--------------|--|
| 第1回 2022(令和4)年 8月19日(金) | 審議事項 | (1) 目黒区環境基本計画及び目黒区地球温暖化対策地域推進計画の改定に向けた基本的方向について 中間のまとめ |
| 第2回 2022(令和4)年 9月28日(水) | 審議事項 情報提供 | (1) 目黒区環境基本計画及び目黒区地球温暖化対策地域推進計画の改定に向けた基本的方向について 答申案 (1) 「令和4年度版めぐろの環境(環境報告書)」の発行について (2) 令和4年度住宅用再生可能エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成事業の実施について |
| 第3回 2022(令和4)年 11月18日(金) | 審議事項 情報提供 | (1) 目黒区環境基本計画改定素案について (1) 令和4年度目黒区エコ・チャレンジ顕彰について |

●他地域との連携による取組の推進

「めぐろエコの森」は、地球温暖化対策に係るカーボン・オフセット²⁵を展望した事業の一つとして、2010(平成22)年度に友好都市である宮城県角田市の^{しほうざん}四方山の一角に創設しました。

2022(令和4)年度は、自然萌芽する中低木と高木を適切な配置で選択のうえ育成しながら、植栽木と選定木の育成に支障となる雑草等の刈り払いを行いました。これらの「めぐろエコの森」整備事業は、みどり東京・温暖化防止プロジェクトの助成を受けて実施しています。



<めぐろエコの森>

²⁵ カーボン・オフセット：温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)すること。

◇ 2023（令和5）年度に実施する主な施策の内容

- 環境負荷の低減や環境保全活動のための顕著な取組を行っている区民、団体、事業者などを顕彰し、地域における環境保全の取組意欲を高め環境と共存するまちづくりの推進を図ります。
- 地域団体と連携し、支援事業を行うことで地域活動協力者の養成を図ります。

トピックス

SDGs（持続可能な開発目標）

SDGs（持続可能な開発目標 エスディージーズ）は、2015（平成27）年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016（平成28）年から2030（令和12）年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。



気候変動や廃棄物などの環境問題だけではなく、貧困や飢餓、経済成長やジェンダーに至る広範な課題を網羅しており、環境・経済・社会の課題を同時に解決することを目指しています。

WEB

JAPAN SDGs Action Platform（外務省）

〔URL〕 <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

トピックス

エコライフめぐろ推進協会とは

1995（平成7）年、区民・事業者・行政が連携してリサイクルを推進する組織として「リサイクルめぐろ推進協会」が設立されました。その後、2005（平成17）年に環境全般にわたる事業を行う「エコライフめぐろ推進協会」へと改称し、環境問題に関する情報の普及・啓発や環境保全活動をする区民や活動団体などへ支援を行っています。

2006（平成18）年には、区の指定管理者となり、目黒区エコプラザの管理運営も行っています。

協会では、エコまつり、環境問題に関する講座、ホームページ「めぐろスマートライフ」によるエコライフの提案などを行っています。また、目黒区エコプラザでは廃食用油やインクカートリッジなど、資源回収事業も行っています。

一人でも多くの区民が環境にやさしいライフスタイルに関心を持ち、さまざまな立場の人たちがつながっていけるネットワーク作りの拠点となる役割が期待されています。

WEB

エコライフめぐろ推進協会ホームページ

〔URL〕 <https://www.ecolife-meguro.com/>